平成26年度　たつの市財務諸表概要版(総務省方式改定モデル)

◇貸借対照表

たつの市がこれまでに形成した資産と、その資産取得のための財源内訳(負債・純資産)を表します。このうち、地方債や退職手当引当金等の負債は将来世代が今後支払っていく債務で、純資産はこれまでの世代が既に支払済の正味の資産です。

(単位:千円)

資産の部	普通会計	連結	連単倍率
資産	135,626,685	240,707,573	1.77
公共資産	114,378,556	213,039,758	1.86
投資等	10,205,739	9,328,957	0.91
流動資産	11,042,390	18,338,858	1.66
うち資金	1,172,386	6,278,691	5.36
合計	135,626,685	240,707,573	1.77

負債の部	普通会計	連結	連単倍率
負債	41,748,081	102,628,149	2.46
固定負債	38,153,889	93,905,243	2.46
流動負債	3,594,192	8,722,906	2.43
純資産の部			
純資産	93,878,604	138,079,424	1.47
合計	135,626,685	240,707,573	1.77

◇資金収支計算書

1年間の現金収支を経常的収支(行政サービス)、公共資産整備収支(資産形成)、投資・財務的収支(地方債等)の3区分で表します。

(単位:千円)

	普通会計	連結	連単倍率
25年度末資金残高	1,290,430	5,515,219	4.27
当期資金収支額	▲ 118,044	786,147	▲ 6.66
経常的収支	7,581,006	8,681,925	1.15
公共資産整備収支	▲ 1,473,334	▲ 1,482,668	1.01
投資・財務的収支	▲ 6,225,716	▲ 6,413,110	1.03
(負担割合変更差額)	—	▲ 22,675	—
26年度末資金残高	1,172,386	6,278,691	5.36

◇純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部が、1年間にどのような要因で変動したかを表します。

(単位:千円)

	普通会計	連結	連単倍率
25年度末純資産残高	94,072,344	148,145,701	1.57
当期変動額	▲ 193,740	▲ 10,066,277	51.96
純経常行政コスト	▲ 28,737,119	▲ 38,228,131	1.33
一般財源	22,806,305	24,569,921	1.08
補助金等	5,718,998	14,355,676	2.51
その他	18,076	▲ 10,763,743	▲ 595.47
26年度末純資産残高	93,878,604	138,079,424	1.47

○平成26年度たつの市財務諸表の特徴

	普通会計	連結
・市民1人あたりの資産	171．5万円	304．4万円
・市民1人あたりの負債	52．8万円	129．8万円
・市民1人あたりの経常行政コスト	37．7万円	72．1万円
(H27.3.31住基人口:79,072人)		
・純資産比率(企業会計の自己資本比率に相当)		
純資産/総資産　＝	69．2%	57．4%
・歳入額対資産比率(歳入額何年分の資産規模か)		
資産/収入　＝	3．9年分	3．5年分
・将来世代負担比率(社会資本整備の将来世代負担割合)		
地方債/公共資産　＝	32．4%	40．8%

◇行政コスト計算書

ごみ収集や福祉サービスなど、資産形成につながらない行政サービスについて、1年間のコストとその財源のフロー情報を表します。

(単位:千円)

	普通会計	連結	連単倍率
経常行政コスト(A)	29,848,101	56,986,262	1.91
人にかかるコスト	4,216,079	7,208,271	1.71
物にかかるコスト	7,285,889	15,284,256	2.10
移転支出的なコスト	17,730,407	31,482,071	1.78
その他コスト	615,726	3,011,664	4.89
経常収益(B)	1,110,982	18,758,131	16.88
純経常行政コスト (A)－(B)	28,737,119	38,228,131	1.33